

自己改革の取り組み

JAグループ北海道は、グループの意志を結集し、組織・事業機能の強化を図るべく、3カ年ごとにJA北海道大会を開催しています。

農業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、農協法改正など政府による農協改革の動向も踏まえ、平成27年の第28回JA北海道大会において“北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」”の実現に向けて、グループ間で連携し、様々な自己改革の取り組みを進めていくことを決議しました。

平成30年の第29回JA北海道大会では、一連の農協改革の動きが継続中であることを踏まえて前回大会

JA北海道大会

将来ビジョン

北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と
「豊かな魅力ある農村」の実現

協同の力で「農業所得の増大」と「多様な担い手の確保・育成」を実現

基本目標1
農業所得の増大に向けた取り組みの加速

基本目標2
担い手を育み支える地域活動の実践

基本目標

次代につながる協同組合の価値と実践

基本目標1
時代に即した協同組合の価値創造

基本目標2
食と農でつながるサポーター550万人づくりの拡充

第13次中期経営計画

基本戦略

北海道農業の成長を支える総合的金融サービスの提供支援

1 農業資金の貸出対応力の強化

- 貸出強化プランの実践支援
- ニーズを踏まえた的確な資金対応と農業融資シェアの確保
- 大規模投資案件等へのJA・信連による一体推進の強化

2 農業者ニーズに立脚した解決策(ソリューション)の提供

- 個別経営課題・ニーズに立脚した相談・コンサル機能の強化～事業承継、法人化等
- 次世代を担う多様な担い手農業者への対応力の強化～新規就農者、後継者支援
- 多様な農業形態への資金対応を通じた労働力確保～TMRセンター、コントラ、JA出資型法人等
- 販路拡大機会の提供等による付加価値向上支援～商談会、ビジネスマッチング、6次産業化等

利用者基盤の堅持・拡充に向けた金融サービスの提供支援

1 生活資金の貸出対応力の強化

- 貸出強化プランの実践支援
- JAバンクローン推進体制の強化
- 利用者ニーズに対応した商品性の改善

2 利用者本位・地域活性化に資する多様なサービスの提供

- 生涯設計サポートを通じた利用者本位のサービス提供～「集まる貯金」への転換・総合取引拡充・新規利用者獲得
- 相続等相談機能の拡充等による利用者との関係深化
- 地域活性化への貢献とJA(バンク)サポーターの拡大
- 新たなサービス提供による利便性・満足度向上～非対面チャネルの機能拡充と利用促進

で決議した将来ビジョンや基本目標は継承しつつ、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たな決議事項に加えました。

当会におきましても、第13次中期経営計画「新時代“Do”プラン～食と農、地域の未来を切り拓く～」における取組事項の着実な実践を通じて、JA北海道大会の決議事項の実現、そして農業者と地域住民から信頼され選ばれ続けるJAバンク北海道の確立に向けて、全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

J A 北 海 道 信 連

「新時代“Do”プラン～食と農、地域の未来を切り拓く～」

具 体 的 取 組 事 項

農業者ニーズに適応した資金対応

- 道内JA統一資金、北海道信連独自資金により、所得増大やコスト低減に繋がる投資等に資金対応

JAバンク北海道サポート事業の展開を始めとした担い手支援

- 利子助成による農業者・組合員の借入負担の軽減
- 担い手のニーズ調査・研究、及び地域貢献活動の実施
- 担い手金融リーダーを中心とした地区の実情を踏まえた実践事項等の協議

北農5連JA営農サポート事業の展開

- 農業人材の確保・定着に向けた取り組みに対する支援
- 専門コンサルタントによる相談機能の提供

商談会への参加

- JAの農産物や加工品を紹介する展示コーナーを出展

農業者向けフォーラムの開催

- フォーラム開催を通じた、農業経営者とJAグループとのより一層の関係強化

住宅ローン利子助成の実施

- 環境に配慮した住宅取得等にかかる借入負担の軽減

小口ローンへの団信付保取り扱い開始

- マイカーローン等の借入に際し団信への加入が可能

総合取引の拡充

- JAバンク利用者に対する、道内農畜産物等の提供
- 北海道警察と連携した、年金感謝ウィークの実施

JA（バンク）サポーターの拡大

- 収穫体験・料理教室の開催等による、食農教育活動の実施
- ファイターズ主催試合に協賛し、「JAバンク北海道スペシャルナイター」を開催

相続等相談機能の拡充

- 成年後見支援貯金の取り扱い開始

北海道農業の成長を支える総合的金融サービスの提供

JAバンク北海道は、農業者に対する的確な資金供給を通じ、地域における資金循環の活性化への取り組みと、多様化・高度化する農業者ニーズの発掘と課題に適應する総合的な金融サポート機能を提供し、金融仲介機能の發揮に向けて取り組んでいます。

農業資金の貸出対応力の強化の取り組み

所得増大やコスト低減に繋がる投資等への十全な資金対応を実現するため、多様な農業資金を用意し、農業者ニーズに適應した資金提案を実施しているほか、利子補給事業による借入負担軽減や農業融資に強い人材育成強化にも取り組んでいます。

JAバンク北海道の多様な農業資金

対象者や資金用途に応じ、さまざまな資金を設けています。道内JA統一資金のほか、北海道信連独自資金も設けており、JAバンク北海道が一体となって担い手等への金融対策強化に取り組んでいます。

【道内JA統一資金】

(単位：百万円)

| 資金名 | 資金の使いみちなど | 残高 |
|------------------|--|--------|
| JAフルスペックローン | 農機具や格納庫など、比較的小口の設備資金 | 70,324 |
| JA農業経営緊急支援資金 | 飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより緊急に必要となる中・長期運転資金 | 8,251 |
| JAエクステンジローン | 他の金融機関から借入している農業経営に係る事業資金の借換に必要な資金 | 3,337 |
| JA農業経営サポートローン | 経営所得安定対策に係る交付金等入金までの間に必要となる運転資金 | 210 |
| JA農業経営ステップアップローン | 農業経営に必要な設備資金や中・長期運転資金 | 28,306 |
| JA営農応援ローン | 農業経営に必要な短期運転資金 | 1,682 |
| JA新規就農応援資金 | 新規就農者の農業経営にかかる設備・運転資金 | 130 |
| JA再生可能エネルギー施設等資金 | 再生可能エネルギー利用の取り組みを支援するための発電・蓄電設備取得資金 | 307 |
| JA農業後継者応援資金 | 既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用 | 2,161 |
| JA中核農業者応援資金 | 既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用 | 252 |
| JA担い手経営対策資金 | 既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用 | 252 |
| JA畜産等経営資金 | 繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛(素牛)の育成・肥育に必要な運転資金等 | 402 |

【北海道信連独自資金（農家組合員向け）】

(単位：百万円)

| 資金名 | 資金の使いみちなど | 残高 |
|------------------------------|--|-------|
| 農業経営ステップアップ資金 | 農地・施設・機械の取得等、農業経営改善に要する資金 | 5,122 |
| 信連 新規就農者資金 | 新規就農者が、農業経営を行っていく際に必要となる資金(営農資金・住宅資金) | 291 |
| 信連 農業後継者応援資金 信連 中核農業者応援資金 | 農業経営の安定化・高度化に資するための既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用 | 1,449 |
| 信連 農業法人経営応援資金 | 農業法人が、農業経営を行っていく際に必要となる資金(運転資金・機械・設備資金) | 2,151 |
| 信連 担い手経営対策資金 | 返済負担軽減のための既往負債の借換並びに経営改善に必要な設備更新等の新規投資 | 112 |
| 信連 畜産等経営資金 | 繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛(素牛)の育成・肥育に必要な運転資金等 | 999 |

【北海道信連独自資金（総合JA向け）】

(単位：百万円)

| 資金名 | 資金の使いみちなど | 残高 |
|-------------|--|--------|
| 農業経営緊急支援資金 | 生産資材の高騰あるいは災害などにより、緊急に必要なとなる運転資金をJAが農業者に融資する際の原資をJAに融通する資金 | 5,169 |
| 共同利用施設等設備資金 | 組合員が利用する共同利用施設等をJAが建設するための設備資金 | 31,549 |

当会では独自資金の他に、制度資金、受託資金も取り扱っております。

【制度資金取扱い状況】

(単位：百万円)

| 資金名 | 残高 |
|---------|-----|
| 農業近代化資金 | 268 |

【受託資金取扱い状況】

(単位：百万円)

| 資金名 | 資金の使いみちなど | 残高 |
|----------------------|---|---------|
| 日本政策金融公庫 (農林水産事業) | 生産力の維持増進・食料の安定供給の確保に必要な資金 | 242,892 |
| 日本政策金融公庫 (国民生活事業) | 教育を受けるために必要な資金 | 425 |
| 住宅金融支援機構 | 災害関連融資等政策的に重要なものを除き、原則として新規のお取り扱いはしていません。 | 10,526 |

JAバンク北海道サポート事業の実施について

当会は、北海道農業や担い手を支援するため、平成26年度より「一般社団法人JAバンク北海道サポート基金」を設立し、新たに『JAバンク北海道サポート事業』を展開しております。

この事業は、道内のJAバンクから農業資金および住宅ローンの融資を受ける農業者・組合員に対し、利子助成を行うことにより借入負担の軽減を図るものです。

さらに、担い手のニーズ調査・研究や環境に配慮した地域社会の実現に繋がる事業・地域貢献活動等、幅広く北海道農業をサポートする事業に取り組んでおります。

令和元年度の農業資金に対する利子助成については、助成対象資金の新規貸付実行額が85億円、助成額は2億2,700万円となりました。

担い手の期待に応える施策展開への取り組み

JAバンク北海道では、全道各地区に設置された戦略会議において、JAバンク担い手金融リーダー（244名）を中心に、担い手の期待に応える施策展開に向けて地区の実情を踏まえた実践事項等について協議を行っています。

【JAバンク担い手金融リーダー】

農業金融実務の専門家として各JAおよび当会に設置を進めてきたものです。

人材育成の取り組み

JAバンク北海道では職員の実務処理能力・融資渉外能力の向上および農業融資に関する知識の習得を図るため、「JAバンク農業金融プランナー」資格制度の取得に取り組んでおり、現在、772名が資格を取得しています。

北海道農業の成長を支える総合的金融サービスの提供

農業者ニーズに立脚したソリューション提供の取り組み

農業者の経営課題やニーズに寄り添い、最適な課題解決策を提供すべく、北農5連と連携した営農サポート事業を展開しています。また、農業者向けフォーラム等の開催を通じて、農業法人・農業者との関係強化を図っています。

北農5連JA営農サポート事業

平成28～30年度において「JAグループ北海道 担い手確保・育成支援事業」を通じて、親元・新規就農者への支援や農業者に対するコンサル機能の提供に取り組んできました。

また、令和元年度～令和3年度において、上記事業の後継事業として、「北農5連JA営農サポート事業」を立ち上げ、喫緊の課題である労働力確保に向けた事業や多様化・高度化する農業者の経営課題やニーズに対するコンサル機能の一層の充実に取り組むこととしています。

①農業人材育成確保支援事業（新規事業）

JAによる人材の確保・定着の取り組みを後押しするため、地域における新たな手法による人材募集の取り組みに対して支援するほか、JAと市町村等が一体となってより定着しやすい環境を整えるための特色ある環境整備や機能向上を含めた環境整備の取り組みに対して支援します。（3ヵ年予算額 2億2百万円）

②農業経営コンサルタント事業（継続事業）

JA相談機能の一層の充実を図り、農業者の経営課題の解決を支援することを目的に、農業者やJAが費用を負担せずに専門コンサルタントによる相談機能を提供します。（3ヵ年予算額 9百万円）

商談会への参加

販路拡大機会の提供を通じて道内農畜産物の付加価値向上を後押しするため、令和元年9月5日（木）～6日（金）の2日間、東京の池袋サンシャインシティにおいて北洋銀行と帯広信用金庫が主催するインフォメーションバザール in Tokyo 2019に、特別協力として参加しました。

道内から14JAが出展し、当会は出展JAのサポートに加え、出展JAの農産物や加工品を紹介する展示コーナーの運営を行いました。また、バイヤー向けにJAの出展商品や連絡先等を掲載した「バイヤーズガイド」を配布したほか、道内ご当地タレントの石黒佳奈氏を「ナビゲーター」として招き、バイヤーを呼び込みながら、道内JAの魅力発信に取り組みました。



【展示ブースとナビゲーター】



【商談会の様子】

農業者向けフォーラムの開催

フォーラムは、農業経営支援の一環として、平成23年度よりJAバンク北海道が主催し、JAグループ北海道が一体となって開催しているものです。

農業経営者（個人・法人経営者）を対象に、今後の農業経営を考える上で一助となるような情報提供を目的に、昨年11月に以下のとおり開催いたしました。

今後もフォーラムの開催を通じ、農業経営者の方々とJAグループとの、より一層の関係強化を目指してまいります。

〈フォーラム開催内容〉

「JAグループ北海道 農業経営フォーラム」

令和元年11月14日（木） 於：札幌ビューホテル 大通公園

参加者 209名（うち農業法人経営者・個人農業者 72名）

- ①演 題：「地域とともに歩む農業経営～これからの「農村産業」～」
講 師：有限会社 伊豆沼農産 代表取締役 伊藤 秀雄 氏
- ②演 題：「道内農畜産物の魅力を伝える秘策」
講 師：商品ジャーナリスト 北村 森 氏



【フォーラムの様子（第1部）】



【フォーラムの様子（第2部）】

利用者基盤の堅持・拡充に向けた 金融サービスの提供・支援

利用者に対する生活資金の供給（貸出）を通じ、地域における資金循環の活性化と、利用者ニーズに適切した提案や、利用者の生涯設計に資する最適な金融サービスの提供により、利用者基盤の堅持・拡充に取り組んでいます。

生活資金の貸出対応力の強化

JAバンク北海道では、生活資金の貸出を通じた地域における資金循環と地域活性化への貢献を目指し、生活資金の貸出強化に取り組んでいます。

住宅ローン利子助成の実施

JAバンク北海道では、環境に配慮した住宅取得等でJAの住宅ローンをご利用される組合員を対象に、利子助成による借入負担の軽減を行い、組合員の生活の向上や環境に配慮した地域社会の実現に取り組んでいます。

小口ローン商品への団信・9大疾病補償保険付保の取扱開始

JAバンク北海道では、ローンをご利用されるお客様の安心を充実させるため、令和元年10月より、マイカーローン・教育ローン等の小口ローンにおいて、団体信用生命保険付保の取扱いを開始しました。

団体信用生命保険は、お客様がローンの返済中に万が一のことがあった場合、保険金により残りのローンが弁済される保障制度で、これまでは、住宅ローンへの団体信用生命保険付保を取り扱って参りました。

小口ローンについても、団信に加えて、既に住宅ローンで取扱している「9大疾病補償」への加入も可能になりました。

保険のご利用はお客様の任意となりますが、お客様の選択肢を広げるものであり、もしもの時に心強い味方となるものです。

利用者本位・地域活性化に資する 多様なサービスの提供の取り組み

組合員・地域の皆さまとの総合取引拡充に向けた取り組み

JAバンク北海道では、道産農畜産物を活用したJAならではのサービスを展開し、組合員・地域の皆さまとの総合取引の拡充に取り組んでいます。

令和元年度は、JAバンク北海道で年金や給与のお受取など、貯金に付随する取引をご利用していただいた方を対象に、道内JAの特産品などが当たる企画を実施しました。

また、年金をお受取りの方等を対象に、「年金感謝ウィーク」を実施し、日ごろの感謝を込めて道産小豆を使用した「招福ようかん」をお渡ししました。「招福ようかん」には、北海道警察と連携して、特殊詐欺に関する注意喚起の標語を印刷し、特殊詐欺被害の未然防止に取り組ましました。

【JA特産品プレゼント企画】

2019 さしあげ マスマス
JAバンク北海道

あつたしあげ。口直し編編編。ほくよりぞう。あまたのさしあげ。ほくよりぞう。

詳しくは裏面をご覧ください。

JAバンク北海道 <http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

JAバンク北海道で
新規申込み・お取引すると、さしあげ **マスマス**

| | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 年金受取で! 年金振込口座のご指定 | 給与口座で! 給与振込口座のご指定 |
| JAネットバンクで! JAネットバンクのご利用開始 | JAカード入会で! JAカードのご入会 |

新規お取引申込みの方 **先着でさしあげ[マ]**
2019年12月30日(月)までに上記のいずれか1つでも新規お取引の申込みされた方
JAバンクキャラクター **よりぞう** **グッズ**などプレゼント!

お取引された方 **抽選でさしあげ[マ]**
2019年12月30日(月)までに、上記のいずれか1つでもお取引された方
JA特産品を最大5,000円分プレゼント!

対象条件: 2019年12月30日までに、年金振込口座、給与振込口座、JAネットバンク(JAカード)のいずれかのお取引された方
WEBエントリーのみの応募となります。詳しくはJAバンク北海道のホームページ(https://www.jabank-hokkaido.or.jp)またはJAバンク北海道の専用ダイヤルまでお問い合わせください。
対象期間: 2019年12月30日までに、年金振込口座のご指定、給与振込口座のご指定、JAネットバンクのご利用開始、JAカードのご入会を、期間中に申込みされた方

抽選方法: 抽選は、お近くのJAバンク窓口にお問い合わせください。

詳しくは、お近くのJAバンク窓口にお問い合わせください。

JAバンク北海道 <http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

【年金感謝ウィーク】

日頃のご愛顧に感謝を込めて
今年も開催!!
JAバンクの **年金感謝ウィーク**

窓口でようかんがもらえる!

期間 2019年6月10日(月)～6月28日(金)

上記期間中、お受取りのJA窓口でDMハガキまたは年金お受取りの通帳をご持参の方に **招福ようかんプレゼント!**

北海道産の大豆を使って、風味豊かに練り上げたようかんです。

JAバンク北海道は、北海道産大豆・JAグループ産小麦を応援しています。

*プレゼントは数に限りがございますので、ご了承ください。
*プレゼントは同一人様おひとりさままでとなります。
*お申し込み後、ご利用のJAでお受取りください。通内の他JAでもお受取りいただけます。

詳しくはご利用のJA窓口までお問い合わせください。

JAバンク北海道 <http://www.jabank-hokkaido.or.jp>



振り込め詐欺に注意!!

(よく考えて) ようかんがえて!!
電話でお金を要求されたら **サギかも**
警察相談ダイヤル **#9110**

JAバンク北海道 自己改革の取り組み

利用者基盤の堅持・拡充に向けた 金融サービスの提供・支援

相続等相談機能の拡充に向けた新たなサービス提供

JAバンク北海道は、道内金融機関で初めて、平成31年4月より成年後見制度を利用される方を対象とした「成年後見支援貯金」の取扱いを開始し、現在75JAで取り扱い中です。

成年後見支援貯金は、成年後見制度を利用する成年被後見人さまの貯金のうち、日常的な支払いに使用しない金銭について別管理するための貯金で、その口座開設ならびにお支払いやご解約などに家庭裁判所の発行する「指示書」を必要とします。そのため、成年被後見人さまの財産について透明性の高い適切な管理を行うことができ、財産管理にかかるトラブルの防止が期待できます。

JAバンク北海道では本貯金の取扱いにより、社会的要請が高まっている成年後見制度の普及に貢献するとともに、組合員・地域の皆さまの相談ニーズにお応えできるよう、取り組んでまいります。

JA信用事業の譲り受け、ならびに代理店運営支援の取組み

令和2年1月、当会はJAにいかっぷ、JAしずない、JAひだか東から信用事業を譲り受けし、あわせて3JAの店舗を信用事業代理店として運営を開始いたしました。代理店運営の支援及び地域住民への円滑な融資対応に取り組むことにより、地域金融サービスの維持・向上を図ってまいります。

JA（バンク）サポーターの拡大に向けた取組み

・親子で学ぼう「あぐりキッチン教室」の開催

JAバンク北海道は、食農教育活動の取組みとして、令和元年度から新たに「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を株式会社農協観光との連携により開催しました。この活動は、親子を対象にした、収穫体験・料理教室のバスツアーで、子どもの農業に対する理解を深めることを目的にしています。

ツアーは全道各地で27回実施し、参加者の累計は1,000名を超え、「生産者の話を直接聞ける貴重な機会」「きれいな野菜も食べようと思う」など、農業や食に対する理解が深まっている感想をいただきました。



・旬食カレッジin江別「収穫・料理教室」の開催

JAバンク北海道は、令和元年8月に江別市で、「旬食カレッジin江別 収穫・料理教室」を開催いたしました。旬食カレッジの開催は、平成28年の札幌市、平成29年の旭川市、平成30年の洞爺湖町に続き4回目になります。

今回は、女性を対象に33名が参加し、「収穫体験」「調理体験」に加え、「物作り体験」としてベジフルフラワー作りを行いました。



利用者基盤の堅持・拡充に向けた 金融サービスの提供・支援

JAバンク北海道スペシャルナイターの開催

JAバンク北海道は、「北海道日本ハムファイターズ」とスポンサー契約を締結しており、地域活性化やJAバンクの認知度向上を目的として、令和元年7月にプロ野球の北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズ戦に協賛し、スポンサーのイベントデー「JAバンク北海道スペシャルナイター」を開催しました。

試合前のイベントには、少年野球チームやJAバンクをご利用いただいている親子を招待しファイターズの選手と触れ合っていました。また、両チームの監督にJA職員が花束を手渡しました。5回裏終了後には、ファイターズガールとともにJAバンクのキャラクターである「よりぞう」と「ちょリス」、北海道警察のマスコット「ほくと君」もYMCAダンスを踊り、会場の札幌ドームを盛り上げました。

会場のプロモーションブースでは、北海道警察と連携して、特殊詐欺被害防止のチラシを配布したほか、JA特産品のPR販売コーナーを設け、入場者に“JAらしさ”をアピールしました。

